# 広報やまと

No.93
11月号
平成24年11月21日

## ～山都町も秋の装い～

11月に入り、山都町内の山々は、オレンジや黄色などで鮮やかに衣替えをしました。今年は例年より色鮮やかな紅葉があちらこちらで見ることができました。そのなかで、大イチョウがライトアップされているとの知らせを受け、市の原地区に行って来ました。旧高松小敷地内にある樹齢100年を超える巨木は、地域をやさしく見守るかのような風格で立っていました。

（24ページに関連記事）

## Contents 主な内容

4P～6P …全国棚田（千枚田）サミット
8P～11P …そよう病院完成
12P～13P …まちの話題
16P～17P…保育所入所者募集
20P～21P…うがい茶・すくすく育て
24P ……もみじまつり

# 車いすのまま乗ることができる福祉車両を寄付

↑
贈呈式で寄付された車両の前で関係者が記念撮影。左から４人目が山本生成住職

←
車両後部が大きくあいて、車いすの方がそのまま乗ることができます。

社会福祉法人蘇清会（倉岡克行理事長）に福祉車両の寄付がありました。これは、車いすを使用している人や外出が困難な人の助けになればと、馬見原にある長久寺（山本生成住職）が寄付をされたものです。その贈呈式が、９月14日長久寺で行われました。

寄付された福祉車両は今、蘇清会が運営する特別養護老人ホーム「蘇望苑」やグループホーム「あいらく」で活躍しています。施設長を務める奈須一男さんは「リハビリの送迎や、入所者の体験のための外出に利用しています。以前は普通車で移動していたが、大型車になったのでとても便利になった。高森町のブドウ狩りなど町外での体験も簡単になった。福祉車両は改造などで一般車両よりも高価。簡単に増車できないので、とてもありがたいです。」と話していました。

## 町長室から
甲斐利幸

日本の実力以上に「円」が高く評価されているように思えてなりません。その結果、対外輸出関連企業はもちろん、日本の経済全体が竦（すく）んでしまっています。原価を抑えるために、人件費削減によって円高対策をしています。デフレ・スパイラルの現象から抜け出すには、歴史的な円高を緩和すべきであると考えています。私が商社にいた昭和40年ころは、１ドル３６０円の固定相場制でした。現在では、１ドル70円台までになっています。貿易立国により高度成長を遂げた日本ですが、十数年にも及ぶ経済不況は、先進国中最も借金が膨らんだ国家財政としてしまいました。今後の日本の経済予測は非常に難しいところですが、「円」に対する投資家の評価が、国民１人当たりの預金額の大きさにあり、諸外国では考えられないと「円買い」に動いているということです。

英国にならって規制緩和策をとりましたが、ちぐはぐな方法により失敗に終わりました。中国・台湾・韓国は経済が膨らんでいます。人件費が安く、自国通貨の為替レートが低いという強さがあります。日本がたどってきた轍を踏んでいます。

世界的な恐慌といわれるなかで、ドイツの税収が、これまでの最高を記録したとの報道を目にしました。学ぶべきものがありますが、日本の独自の経済政策を期待しています。

消費税が平成26年から８％となり、27年から10％になります。生活防衛からは、経済は縮みますが、田舎にあれば、都市と違って出費をより大きくコントロールできます。こしばらくは、ライフスタイルを今一度見直すことが必要です。また、町政も長期展望による経営が必要です。



# 自然の中で豊かに育つ子どもたち その35

矢部郷自然観察会　代表　藤吉　勇治

10月19・20日の両日、山都町において「全国棚田サミット」が開催された。「子どもたちへ残そう地域の宝」を大会テーマとして、全体会、分科会、棚田見学が実施され、共同宣言を採択して閉幕した。

私は第２分科会の話題提供者として報告させてもらった。矢部郷自然観察会では、白糸台地の棚田や通潤用水での生きもの観察会を続けており、この地域に生息している多種多様な生きものたちの観察を通して見えてきた棚田や用水路の自然環境について報告した。

今日、全国各地で絶滅の危機にあるタガメやゲンゴロウ、トノサマガエルなどの生きものを山都町ではごく普通に見かけることに、全国からの参加者は驚きの表情を見せた。しかし、タガメやトノサマガエルなどの希少野生生物に注目してほしいのではない。それらの希少な生物たちが生息できる生態系があり、生きものたちをつなぎ育む環境があるということである。豊かな自然環境が、棚田や通潤用水で維持されているということだ。

さらに、この豊かな自然環境は、地域の人々のくらしと密接に関わりながら形作られてきたものである。先人たちが自然と向き合い、田を開き、営々と受け継がれてきた歴史がある。生きものたちと共存しながらの安心・安全な米作りは、多くの手間と時間を要するが、米にはそれだけの価値が詰まっている。

分科会で、私は次のような意見を出した。それは、子どもたちの学習の場としての棚田の利用だ。棚田での農業体験や自然観察は、子どもたちの社会認識や自然認識を確かなものにする。棚田は多くの生命を育む場所であり、子どもを育てる場所であると考える。棚田サミットのオープニングで矢部小学校の子どもたちが歌った曲名は「棚田へ行こう」であった。未来を担う子どもたちと棚田へ行こう。

# YOU&YOU通信 Vol.66

## ☆24組目のカップル誕生!!☆

YOU&YOU24組目の夫婦となる、吉村隆生さん・奈美路さんご夫婦（矢部地区）の結婚披露宴が10月21日（日）に行われました。

披露宴では、親族や友人からの温かい祝福を受けて、とても幸せそうなお二人。７月号でお伝えしたとおり、お二人は、昨年のクリスマス交流会で出会い、今年６月に入籍をされました。末永いお幸せを心から願っています。

＊吉村さん夫妻が出会った、クリスマス交流会を12月に予定しています。ただいま参加者を大募集中！あなたの参加を待っています。＊

吉村 隆生さん・奈美路さん夫婦

## ＊10月の交流会＊

10月28日、男女合わせて10人の参加のもと、福岡市の能古島日帰り交流会を開催しました。出発前には天候が心配されましたが、能古島に着く頃には空に太陽が姿を現しました。うららかな秋の１日となったこの日、参加者は博多湾の中央に浮かぶ能古島を、思い思いに散策しました。見頃を迎えたコスモスと四方を海に囲まれた抜群のロケーションで、参加者の気分も上々。少人数の交流会でしたが、今回もいい出会いがあった手応えを感じています。このすてきな出会いをサポートしていきます。

## ☆結婚相談員です！☆

梶原きみ代さん
（貫原）
☎82-2490

相談員の梶原です。

この事業を多くの方に知っていただき、たくさんの成果が上がるようにと毎月、この誌面でＰＲを続けています。嬉しいことに、最近は、本人が直接登録して、交流会に参加されることも増えてきました。まずは気軽に参加してみてください。

### ●問い合わせ先

ＹＯＵ&ＹＯＵ事務局
（役場　総務課）成瀬・吉田
【専用電話】
０９０-９５６５-９５８９
【専用アドレスＰＣ】
marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp
【専用アドレス携帯】
you_and_you@docomo.ne.jp

## 日本の原風景
## 棚田を子どもたちへ

10月19日と20日の2日間、第18回全国棚田（千枚田）サミットが山都町で開かれ、全国からのべ１０００人が参加しました。

テーマ

# 子どもたちへ残そう地域の宝
### ～地域が育み続ける棚田の文化と景観～

矢部小による「棚田へ行こう」の合唱

10月19日、町営中央体育館で始った「第18回全国棚田（千枚田）サミット」。会場には約６００人の参加者がい、熱気あふれる開会となりました。

このサミットには、北は北海道から南は鹿児島まで、全国各地からの１０００人が参加。天候にも恵まれ2日間でした。

開会式前のオープニングアトラクションでは、矢部小学校児童による「棚田へ行こう」の合唱と、矢部小1・2年生によるくまモン体操が披露されました。くまモン体操にはサプライズゲストとしてくまモンも登場しました。

開会式の後は、熊本大学の吉村豊雄教授による基調講演、そして、菅地域振興会の渡邉正弘代表と、白糸第一自治振興区女性部の下田美鈴部長による、事例発表が行われました。

事例発表の後は、4つの分科会と首長会議に分かれて、それぞれのテーマについて議論されました。（6ページに記載）

分科会の終了後、中央体育館で「全体交流会」が行われました。全国からの参加者との交流が目的で、参加した約５００人が再会や新たな出会いを楽しみました。交流会の料理は、山都町飲食業組合の皆さんが腕によりをかけてつくったもの。しし汁やヤマメの塩焼きなど多彩な料理でもてなしました。ステージでは矢響太鼓と高畑祢神社田植え踊りが会場を盛り上げました。

20日午前中は、現地見学会です。棚田百選に選ばれた「菅棚田」と「峰棚田」、そして、重要文化的景観の選定を受けた白糸台地の棚田の３つのコースに分かれて、日本の原風景といえる棚田を見て、そこに住む方々の暮らしなどの語りを聞きました。3つの地域の方々は、この日に向けて準備を重ね、それぞれに特徴のあるもてなしをしました。地域ガイドや案内図には、その気持ちが込められていました。現地での昼食は、それぞれの地域内産物を活かした特製弁当などで、さらに参加者をもてなしました。

この大会は、飲食業組合の方々や菅・峰・白糸第一地区のみなさんをはじめ、多くの方々にボランティアとして協力していただきました。矢部高校や矢部中学校の生徒、熊本大学の学生の助けもありました。また、この大会は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施されました。

吉村豊雄教授の基調講演

事例発表した下田さん（左）と渡邉さん（右）

## ２日目（20日）は現地見学会

### 棚田を守る人々が心を込めておもてなし

旧中島南部小学校をスタートして峰棚田を見学。サミットを記念した植樹や、竹の器で提供された昼食が参加者に好評でした。

集落内を地域の方がガイドします。棚田のあぜ道を歩くコースもありました。さらにオーナー制度実施中の棚田も見学しました。

円形分水から始まる通潤用水を実際に見学したあと、白糸台地が一望できる場所を歩きました。途中、地域の方が制作したユニークなかかしが出迎えました。

↓共同宣言を読み上げた、坂本安駿さん・真由美さん。農作業服と長靴、麦わら帽子という、就農への思いが表れた衣装で登壇、参加者へ向け力強く宣言しました。

## 来年は和歌山県有田川町で

20日の午後は閉会式。分科会のまとめ発表のあと、共同宣言です。来春、夫婦揃って就農される坂本安駿さん、真由美さんが、「先人たちが育んだこの棚田を次世代に引き継いでいきます。」と宣言しました。そして最後に実行委員長である甲斐町長の言葉で、2日間に及ぶサミットは終了しました。来年は和歌山県有田川町での開催が決定しています。次の再会を約束して参加者は会場を後にしました。

次回のサミットは和歌山県有田川町です

## みなで つれもてきてよ～

第19回全国棚田（千枚田）サミット
２０１３年１１月８日・９日

# 熊本県 省エネルギー設備等 モデル導入補助金

熊本県では、電力不足問題に対応するため、「熊本県省エネルギー設備等モデル導入補助金」を新たに創設、７月から補助金の募集を始めました。

３種類の省エネ設備などを導入し、その省エネ効果について県に報告いただける方や事業所に補助金を交付します。

募集期間が来年１月末までに延長されました。ぜひご利用ください。

問い合わせ先

県商工観光労働部エネルギー政策課
（０９６－３３３―２３３０）

## 住宅に

① スマートメーター
② ＬＥＤ照明など
③ 蓄電池・地中熱利用システム・エネファームのどれか１つ以上

| | | |
|---|---|---|
| 補助内容 | 新たに導入する省エネ設備の種類 | 補助金額 |
| | ①＋②＋③ | １９万円 |
| | ①＋③（②を導入済みの場合） | １７万円 |
| | ②＋③（①を導入済みの場合） | １７万円 |
| | ③（①、②を導入済みの場合） | １５万円 |
| 募集期間 | **平成２５年１月３１日**まで<br>※先着順・予定件数 150 件 | |

## 事務所に（中小企業用）

① スマートメーター
② ＬＥＤ照明など
③ 蓄電池・地中熱利用システム・自家消費型太陽光発電システムのどれか１つ以上

| | | |
|---|---|---|
| 補助内容 | 新たに導入する<br>省エネ設備の種類 | 補助率<br>（補助金額） |
| | ①＋②＋③ | ３分の１以内<br>上限 200 万円 |
| | ①＋③（②を導入済みの場合） | |
| | ②＋③（①を導入済みの場合） | |
| | ③（①、②を導入済みの場合） | |
| 募集期間 | **平成２５年１月３１日**まで<br>※先着順・予定件数 35 件 | |

山都町観光案内所

## ギャラリー喫茶 ルポン

☎72－1054

～ 12 月ギャラリーのご案内 ～

**「カズラアレンジ&押し花展」**

**12 月1 日(土)～ 12 月27 日(木)**

るい工房（木原晴栄）

木の実やドライフラワー造花などにさまざまなアレンジを施したカズラ工芸 25 点と、季節ごとに庭先を彩る花々で造った押し花 20 点が展示されます。

## 森の音楽会＆てづくり市

冬の森の景色を味わいながら、モンゴル民謡やニュージーランド楽器の奏でる多国籍な音楽を聴きにきませんか？

**12 月 15 日（土）午後2時　スタート**
会　場：服掛松キャンプ場　囲炉裏のあるロッジ内
出演者：三枝彩子（モンゴル民謡オルティンドー）
　　須藤かよ（ピアノ・アコーディオン）
　　牛島大智（ニュージーランド楽器ディジュリドゥ）
　　久保田りゅうじ（ギター）
チケット　前売り券 1,000 円・当日券 1,300 円
　　70 歳以上 500 円、小学生以下無料

また、同日は、場内にカレー屋、パン屋、クラフトの店やフリーマーケットが並ぶ「てづくり市」も開催されます。

問 服掛松キャンプ場（８３－０２４９）



# 分科会で棚田保全について熱い議論

今回の棚田サミットでは分科会も行われました。19日の事例発表のあと、参加者は4つの分科会と、全国から参加した市町村長らによる「首長会議」に分かれました。総勢５００人の参加者が、分科会ごとのテーマに沿って、日頃の活動の内容や現状の問題点を語り合いました。

**各分科会のテーマ**

第１分科会
地域が守る棚田の保全と活用

第２分科会
棚田が育み続ける自然と機能

第３分科会
棚田の景観を活かした持続可能な地域づくり

第４分科会
棚田を未来に引き継ぐ主体と方法

## 首長会議　会場：中央公民館

政府の施策について話し合った。人・農地プラン（地域農業マスタープラン：農林水産省）や地域おこし協力隊（総務省）などの施策を活用して、地域の担い手不足を補っていこうという共通認識になった。

## 第１分科会　会場：通潤山荘

棚田の保全には担い手が大事。農業は目的ではなく生きるために行っている。棚田と担い手による農の恵みが幸せの収穫ではないだろうか。日本の中核である農業をどう楽しみ、守り支えていくかを話し合った。

## 第２分科会　会場：千寿苑

多面的機能のうち「生物多様性保全機能」について話し合った。生きものと同時に生きものへのまなざしや情愛も子どもたちに引き継がねばならない。そうすれば、日本型の環境支払いも実現できるだろう。

## 第３分科会　会場：町立図書館

矢部高校生とともに、通潤橋を実際に見て、棚田の価値や文化をどうすれば継承していけるか議論した。そのためには、まず、地域の歴史や自然、自然の生業である農業を知ることが重要であるとの共通認識が生まれた。

## 第４分科会　会場：浜町体育館

棚田を引き継ぐには、後継者確保だけでなく、新規就農やＩターンなどの受入による担い手確保も必要だとの提起もあった。当事者のみで議論するのは限界があり、必要な支援などを広く社会的にアピールしていくことが必要だ。

# 旧蘇陽中学校馬見原分校跡に移転改築 そよう病院が

**平成23年度から移転改築工事が進められていた町立蘇陽病院が完成。11月4日に竣工式が行われ、関係者が新しい病院の建設を祝いました。**

## 地域包括医療の新たな拠点がここに完成。

11月4日に新病院で行われた竣工式には、水本誠一病院長はじめとする病院関係者のほか、町長や地域の方々、工事関係者など約100人が出席。式のあとはアトラクションとして大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の演奏と高千穂エイサー隊の演舞が披露されました。竣工式のあと参加者は真新しい病院を見て回りました。

新生そよう病院は、旧病院（昭和43年建設）の老朽化を受けて、旧蘇陽中学校馬見原分校跡地に移設。患者だけでなく、町民みんなが健康づくりに集えるような「病院らしくない病院」をコンセプトに、九州山地を望む眺望、自然と調和した外観などの特徴をもつ設計がされました。さらに、高い耐震性と安全性を確保。人工透析室を設置、エレベーターや多目的トイレも整備され、バリアフリーにも配慮されています。

竣工式

あいさつする甲斐町長

大阿蘇蘇陽太鼓喜楽



### 病院沿革

- ■昭和22年　馬見原町外六ヶ町村立馬見原病院開設
- ■昭和35年　蘇陽町外二ヶ町村病院組合馬見原病院に名称変更
- ■昭和39年　蘇陽町清和村病院組合馬見原病院に名称変更
- ■昭和51年　馬見原病院を蘇陽病院に名称変更
- ■昭和58年　救急告示病院に指定
- ■昭和61年　柏歯科診療所開設
- ■平成 7年　へき地中核病院指定
- ■平成15年　へき地医療拠点病院指定
- ■平成24年　山都町包括医療センターそよう病院に名称変更

### 工事概要

- ■事業年度　平成23年～24年度
- ■完成　平成24年11月4日
- ■総事業費　約13億7千万円
  - （内訳）本体工事費：9億9千万円
  - 医療機器：2億円
  - 設計委託：6千万円
  - その他：1億2千万円
- ■敷地面積　6,543㎡

### 施設の概要

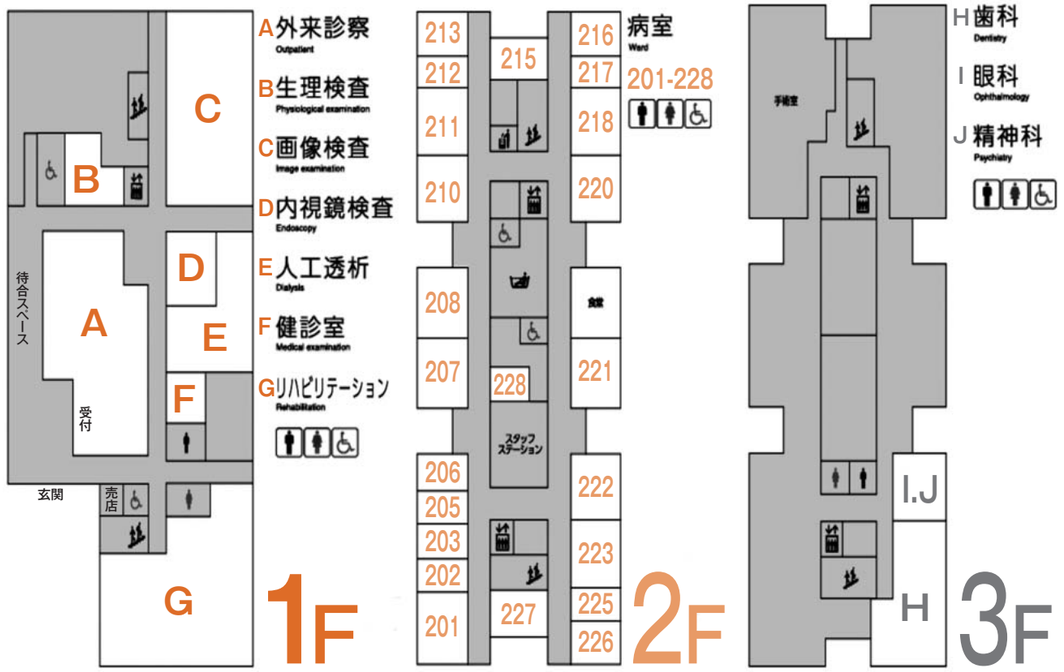
- ■施設　鉄筋コンクリート造 3階建
- ■建築面積　4,480㎡
- ■診療科（14科）　内科・外科・小児外科科・消化器外科・循環器内科・整形外科・眼科・小児科・リハビリテーション科・呼吸器内科・精神科・心療内科・歯科・歯科口腔外科
- ■病床数　57床

## 新たな歴史のスタートライン これからもみなさんに育ててほしい

水本　誠一 院長

今まで老朽化した病院で大変ご不便をかけてきましたが、移転改築が実現し、職員一同感激しています。移転に併せて病院名を「山都町包括医療センターそよう病院」に変更しました。当院は「山都町国民健康保険条例」第7条に基づいて設置されている公立病院で、通称「国保直診病院」といいます。この国保直診病院の理念は「採算性が乏しくて民間医療機関が進出できないようなへき地でも、いつでも診てもらえる病院」で、全国に設立されており、国民皆保険制度を根幹で支える病院です。医療に加えて、健康づくり・福祉サービスまでを総合的に提供する「地域包括医療・ケアシステム」の拠点としての活動を目標のひとつとしています。そこで今回病院名に「包括医療」の文字を入れました。町民の皆さんがいつでも受診してほしいとの思いも込めています。さらに親しみを持ってもらえるようにと「蘇陽」を「そよう」に変えました。新たな思いを胸に、歴史のスタートラインに立ちます。これまで同様、守り育てていただきますようお願いします。

# 館内のご案内 Floor information




## 1F

【総合受付】
総合案内や受付を行うエントランス、玄関天井には、町内産のスギを使用。開放感のある天井とともに安らぎと癒しを感じる空間となっています。
【診察エリア】A外来診察・F健診室
【検査エリア】B生理検査・C画像検査・D内視鏡検査
CTスキャン、MRI機器を一新しました。
【人工透析室】9床設置しました。
【リハビリテーション】周囲にガラス窓を配置。開放的な空間です。

❶待合室
❷総合受付
❸人工透析室
❹リハビリテーション

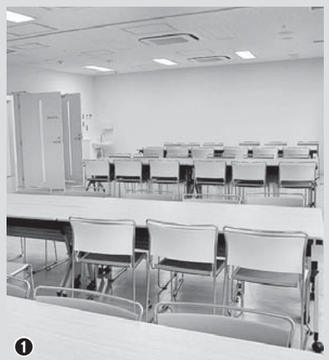
## 2F

【病　室】
23室57床。病室の一床あたりの面積が広くなり療養環境が向上しました。

## 3F

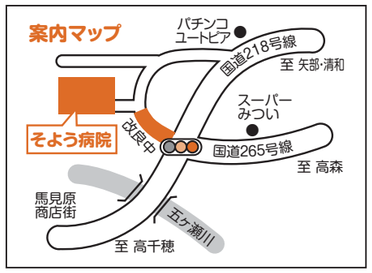
【歯　科】柏歯科診療所を移設しました。
【眼科・精神科】
【手術室】安全で効率的な手術システムが導入され、家族控え室なども設置されました。
【会議室】院内で開催されるセミナーや講演などさまざまな用途に活用されます。





❶会議室
❷❸歯科
❹手術室






問い合わせ
山都町包括医療センターそよう病院
電　話　0967−83−1122
FAX　0967−83−1124
「へき地拠点病院として、患者様に信頼される良質な医療を提供し、地域住民に親しまれる病院を目指します。」

新病院内に、入院患者や来院の方向けのショップが同時オープンしました。馬見原商店街の方々などで組織する「馬見原買い物支援協議会」が運営する「まみはら屋」です。雑誌や新聞から衣類、弁当や総菜類も取りそろえてあります。営業時間は月～金曜日の午前9時～午後4時30分です。

ここにも、新病院を支える地域の方々の大きな力が発揮されています。ぜひご利用ください。

馬見原商店街の
アンテナショップ
**まみはら屋**
**院内にOPEN**

とても便利な「まみはら屋」

# まちの話題

## 世界を変えるまちづくり講演会

10月20日、本さつまやで「世界を変える！山都まちづくり講演会」と題した、棚田サミットを契機とした農村の在り方について考える講演会が開催されました。（山都地域バイオ燃料協議会主催）講師には、「世界を変える社会起業家100人」（ニューズウィーク誌）に選出されたこともある、㈱大地を守る会代表取締役、藤田和芳さんを迎えました。日本の有機農産物宅配システムを先駆けて築いた藤田さん。有機農業と環境問題に取り組んできた37年の歴史を話しました。講演会のあとには、藤田さんや下田図書館長などをパネリストに迎えたディスカッションも行われました。

講演した藤田和芳さん

## うまかもん祭り

11月3日、毎年恒例の「うまかもん祭」（山都町飲食業組合主催）が旧浜町会館駐車場を会場に開催されました。梅山豚うどんやいのしし汁、矢部高のカレーなどの山の恵みとともに、今年も「はままち軽トラ市」が出店。アワビなどの新鮮な海産物、加工品が天草からはるばる運ばれ、海の幸・山の味覚が豪華に揃いました。ステージでは、牛深高校郷土芸能部による牛深ハイヤ踊りや大阿蘇蘇陽太鼓喜楽の演奏などが会場を盛り上げました。周辺では人力車やハーレーの無料試乗体験も実施されました。

しまきのお店では餅つきがありました。

## 蘇陽南小 稲刈り&脱穀

蘇陽南小学校の5年生が、馬見原東部老人クラブの方々とともに育てたもち米の収穫作業がありました。

まずは10月18日の稲刈り。生徒は手に鎌をもち、慣れた手つきで次々と刈っていきます。

続く11月5日は脱穀作業です。ここでも老人クラブと協力しながら、架け干しされた稲の束を脱穀機械にかけます。収穫量は一斗（いっと）升、5合升などで計量。今年の収穫は6斗7升（約100kg）でした。

今年も豊作！

## 御岳小で稲刈り

10月29日、御岳小学校の全児童と職員、さらに保護者が参加して稲刈りが行われ、黄金色の穂を垂れたもち米を収穫しました。これは、御岳小PTA事業部が学校と共同で行っている稲刈り作業です。世代間交流事業の一つとして行われており、児童と地域の方々の重要な交流の場となっています。12月には小学校で餅つきを行って、その餅は各家庭に配られる予定です。

6年生の井上貴文くんは「作業は難しかったけど、給食で食べるのが楽しみ。」と話してくれました。

上手にてきぱきと稲を束ねていきます。

## 清和小でヤマメ放流

緑川漁業協同組合では、豊かな水産資源の確保を目的に、緑川上流にあたる大矢川などにヤマメの稚魚を放流しています。10月31日、清和小学校1年生12人を招いた放流会が行われました。放流に先だって漁協の坂本猛組合長が「このヤマメ稚魚のためにも川をきれいにしてください。」と呼びかけました。このあと児童は川岸で用意されたヤマメ約3000匹をバケツで次々と放流しました。参加した藤川凛璃耶くんは「バケツ5杯放流した。おいしいヤマメになるように川をきれいにしたい」と話していました。

きれいな川にするよ～

## 一ツ葉高校文化祭

目丸にある一ツ葉高校の文化祭が10月25日に開催されました。一ツ葉高校は平成20年11月、目丸の旧白糸第三小学校に設立された広域通信制・単位制高校です。文化祭には、熊本・福岡・小倉・千葉・東京の代々木・立川のキャンパスから250人の生徒と先生、職員が参加。地域の方々も招待されました。企画や運営を生徒が行っている同校の文化祭は今年で2回目。地元である白糸第三自治振興区会長の東敬慮さんは「高齢者の里に若い学生の声が響くのはうれしいこと」と目を細めていました。

ステージでは学生のバンド演奏もありました。

## 大きな人形劇

10月13日、明光保育園（白小野）で人形劇が開かれ、園児や保護者、地域の方々が人形劇「コロボックル」を鑑賞しました。ステージの幕が開くと、等身大の人形にみなびっくり。しかし、楽しい歌やダンスを織り交ぜた感動的な話しに、会場は感動に包まれました。同園では、この日園児の製作展も開催されました。絵本「ぐりとぐら」をテーマにした、感性豊かな作品が園を埋めつくし、来場者を楽しませました。

人形劇「コロボックル」

## 軟式野球協会旗選手権大会

10月9日から5日間にわたり、「第8回山都町軟式野球協会旗選手権大会」が町営中央グラウンド、清和グラウンドで開催されました。大会には町内全域から9チームが出場。決勝戦は「岳友クラブ」と「With」との対戦となり9－4で岳友クラブが優勝しました。

優　勝　岳友クラブ
準優勝　With
3　位　西部・ビクトリーオークス

岳友クラブ

## 第11回ソフトバレーボール大会

10月22日～23日

●トリムA（39歳以下）の部
優勝　中島南部B

中島南部B

●トリムB（40歳以上）の部
優勝　なかなか4人衆

なかなか4人衆

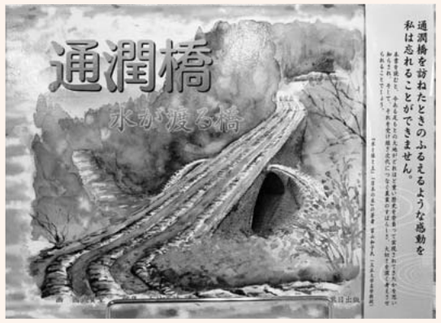
## 職場対抗バレーボール大会

10月9日～12日
優勝　役場A

# 『通潤橋物語』が絵本になりました

通潤橋の紙芝居「通潤橋物語」が、より多くの方に、より手軽に手に取っていただけるように、絵本として再編集しました。昔の人々の知恵や力が結集した、町の宝であり、シンボルでもある通潤橋。度重なる困難に屈することなく、偉業を成し遂げた布田保之助。その偉大さをたくさんの方に知っていただくとともに、町の子どもたちだけでなく、未来を生きるたくさんの子どもたちの力になることを願って製作しました。この絵本「通潤橋　水が渡る橋」は各図書館に所蔵しています。

「全国棚田サミット」の第3分科会では、この絵本の基となった通潤橋物語紙芝居が披露され、白糸地区のみなさんが登場人物を演じました。




絵本「通潤橋　水が渡る橋」
文:大林　美穂　画:國武　賢聖

棚田サミット第3分科会での紙芝居の披露

## 蘇陽南小2年生が見学に来てくれました。

10月17日、蘇陽南小2年生のみなさんが図書館蘇陽分館に見学に訪れました。2年生の児童はみんな好奇心旺盛。「本は何冊ありますか？」「1番小さな本はどれですか？」「虫の本は何冊ありますか？」「大切にしている本はなんですか？」などたくさんの質問をしてくれました。質問の後、好きな一冊を選んで、その絵本を手に記念撮影をしました。楽しい読書体験を通して、豊かな想像力や生きる知恵を身につけて欲しいと思いました。

# 図書館情報

―読書とは、
心の中に蓄えておきたい言葉に出会うことです―

●お問い合わせ
・本館 73-1616 ・清和 82-3033 ・蘇陽 73-2755
●休館日：本館・蘇陽（月曜日・祝日・GW・お盆・年末年始）
清和（GW・お盆・年末年始）

## 今月のおすすめ図書

「赤い高粱（こーりゃん）」

莫言（ばくげん）
岩波書店
分類 923

2012 年ノーベル文学賞に選ばれた、中国の作家莫言氏の代表作とも言える小説です。酒造りを営む一族を中心とした登場人物たちの生き様が、生々しく描写され凄まじさを感じる小説です。

「山中伸弥先生に、人生と ips 細胞について聞いてみた」

山中 伸弥（やまなか しんや） 緑 慎也（みどり しんや）
講談社
分類 491

2012 年ノーベル生理学・医学賞を受賞した、山中氏とはどんな人物なのか。インタビュー形式も交えて、生い立ちから、isp 研究について、そして家族や研究所員との絆などを語られています。

## 12 月のわくわく号運行予定



蘇陽地区

| 月　日 | 巡回場所・時間 |
|---|---|
| 12月5日(水) | 大野・西部交流センター(午前10時30分～) |
| 12月6日(木) | 東竹原・老人いこいの家前(午前11時～)<br>蘇陽総合支所(午後0時30分～) |
| 12月7日(金) | 二瀬本・コミュニティセンター(午前11時30分～)<br>花上・公民館(午後1時30分～)<br>菅尾・まこと薬局駐車場(午後2時30分～) |

清和地区

| 月　日 | 巡回場所・時間 |
|---|---|
| 12月11日(火) | 清和小(午前10時30分～)<br>清和総合支所(午後0時30分～)　清和中(午後1時～) |
| 12月12日(水) | 原尻公民館(午前10時～)　花高原(午前10時30分～)<br>井無田公民館(午前11時～)<br>井無田診療所横(午前11時30分～) 支援ハウス(午後1時～) |

矢部地区

| 月　日 | 巡回場所・時間 |
|---|---|
| 12月19日(水) | 金内公民館(午前9時45分～)<br>こころ(午前10時30分～)<br>島木のお店(午前11時15分～) |
| | 藤木(午後1時15分～)<br>下矢部保育園(午後2時～)<br>改善センター(午後2時40分～)<br>白小野(午後3時25分～) |
| 12月20日(木) | 稲生野(午前9時45分～)<br>一の瀬(午前10時20分～)<br>よってはいよ(午前11時10分～) |
| | あおぞら(午後1時35分～)<br>白糸事務所(午後2時20分～)<br>菅・鮎の瀬(午後3時～) |
| 12月21日(金) | 風の木(午前10時～)<br>光露館(午前10時50分～)<br>大矢荘(午前11時20分～) |

※天候や道路状況により予定が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸し出しに必要ですので必ずお持ちください。
※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。
巡回場所での滞在時間は約30分です。

## わくわく号があなたの近くに来ます

図書館では、移動図書館車「わくわく号」の利用申し込みを受け付けています。お申し込みいただければお近くの公民館などへ巡回いたします。お気軽にお申し込みください。
お申し込みは**お近くの図書館へご連絡ください。日程や時間などを調整いたします。**
・貸し出し期間（1ヵ月）・1人 10 冊まで借りることが出来ます。 ・予約やリクエストもできます。

平成 25 年度の入所を受け付けます。

# 町内保育園・保育所 入所ご案内

## 12 月 3 日(月)～ 14 日(金)

**町立・私立保育園とへき地保育所の 15 園の園児を募集します。**
**年度途中（出産や産休、育休あけなど）からの入所を希望される方も、この期間に受付を行います。**
**なお、仕事などの都合で、町外の認可保育園（所）へ入所を希望される方も、申請が必要です。**

### 【入園（所）基準】

保護者や同居の親族が、次のいずれかの事情で保育することができないと認められる場合に入所できます。

①家庭外で労働している。
②家庭内で児童と離れて家事以外の労働をしている
③母親が妊娠中又は出産後間がない
④病気、負傷、心身に障害がある
⑤長期にわたる病気や障害のある同居親族を常時介護している
⑥火災や風水害などの復旧にあたっている
⑦町長が認める①～⑥に類する状態にある方

### 【募集期間と選考方法】

**●受付期間**
**12 月 3 日（月）～ 12 月 14 日（金）**
**午前 8 時 30 分～午後 5 時まで**

**●受付場所**
**希望する町内保育園（所）または、役場本庁、各総合支所の健康福祉課**
入所決定後は、3 月中に入所承諾書を送付します。

### 【申し込みに必要なもの】

①保育園（所）入所申込書
②調査票
（地元民生委員の証明が必要です。）
③承諾書
④就労証明書
⑤その他町が決めた提出書類
＊診断書、母子健康手帳の写し等
（状況に応じ必要な方のみ）
＊所得税額証明書
（町外で課税された方のみ）

### ◆ 申請・問い合わせ先

**○本庁　健康福祉課**
**℡７２－１２２９**
**○清和総合支所　健康福祉課**
**℡８２－２１１１**
**○蘇陽総合支所　健康福祉課**
**℡８３－１１１１**

## 私　立　保　育　園

**御岳保育園**
①川野 ②０歳～就学前 ③30人 ④午前７時～午後６時半 ⑤有り ⑥有り

**明光保育園**
①白小野 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時～午後７時 ⑤有り ⑥有り

**下矢部保育園**
①猿渡（4月から長田）②0歳～就学前③20人④午前7時～午後7時⑤有り⑥有り

**浜町乳児保育園**
①上寺 ②０歳～３歳未満 ③30人 ④午前７時～午後６時半 ⑤なし ⑥有り



## 保育園の紹介

①所在地　②受入年齢　③定員　④保育時間
⑤バス送迎　⑥給食

◎保育時間（延長保育）は、利用がないときは開所時間が変わる場合があります。
◎保育時間（延長保育）やバスの送迎を利用される方は利用料がありますので、各保育園にお尋ねください。
◎認可保育園の保育料はお子さんの年齢と、保護者の所得税及び住民税などによって決定します。保育料は決定後に所得税の変更などにより保育料をさかのぼって変更する場合があります。
◎へき地保育所の保育料は１人月額 4,000 円、２人目から 3,500 円です。

## 公　立　保　育　園

**浜町保育園**
①下馬尾 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時半～午後６時半 ⑤なし ⑥有り

**浜町第２保育園**
①畑 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時半～午後６時半 ⑤なし ⑥有り

**白糸保育園**
①新小 ②０歳～就学前 ③30人 ④午前７時半～午後６時半 ⑤なし ⑥有り

**金内保育園**
①金内 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時半～午後６時半 ⑤なし ⑥有り

**矢部同和保育園**
①城平 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時半～午後６時半 ⑤なし ⑥有り

**大川保育園**
①大平 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時半～午後７時 ⑤なし ⑥有り

**馬見原保育園**
①馬見原 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時半～午後７時 ⑤なし ⑥有り

**二瀬本保育園**
①柏 ②０歳～就学前 ③45人 ④午前７時半～午後７時 ⑤なし ⑥有り

**菅尾保育園**
①菅尾 ②０歳～就学前 ③30人 ④午前７時半～午後７時 ⑤なし ⑥有り

## へ　き　地　保　育　所

**御所へき地保育所**
①御所 ②２歳半～就学前 ③30人 ④午前８時半～午後５時 ⑤なし ⑥なし

**小峰へき地保育所**
①小峰 ②２歳半～就学前 ③30人 ④午前８時半～午後５時 ⑤なし ⑥なし

# 保健センターだより vol.17

## ワクチンで防ぐことのできる病気（VPD）を知って、子どもの命を守ろう

**定期予防接種**
BCG：結核
三種混合：ジフテリア・破傷風・百日咳
ポリオ：小児麻痺・日本脳炎
MR：麻しん・風しん

**任意予防接種**
ヒブ感染症・肺炎球菌感染症・インフルエンザ・子宮頸がん・ロタウイルス感染症（胃腸炎）・B型肝炎・おたふくかぜ・みずぼうそう

これらは重症化すれば、子どもの命にかかわる病気です。ワクチンで防ぐことができる病気は、積極的に予防接種を受けて病気を予防しましょう。

予防接種は種類によって、接種を始める月齢や回数、方法、間隔が異なります。最近は新しい予防接種が導入されたり、ワクチンの変更があったりと小さい子どもを持つ保護者としては、不安も多いはずです。

そこで、町では赤ちゃん訪問の際、「予防接種とこどもの健康」という冊子を配布し、病気の概要やワクチンについての理解を深めていただくように努めています。また子ども一人ひとりに合った、予防接種に関する情報提供もしています。ご心配や不明な点は、保健師やかかりつけ医にお気軽にご相談ください。

なお予防接種を受ける際には、母子手帳と予診票を忘れずに持参してください。予診票の再発行が必要な方は、母子手帳を持参し、問い合わせ先まで取りに来てください。

**問合せ先**
矢部保健福祉センター千寿苑　７３－１６００
清和保健センター　８２－２９００
蘇陽総合支所健康福祉課　８３－１１１１

# 山都警察署・署協議会だより

山都警察署　TEL72－0110

熊本県警のホームページ
http://www.police.pref.kumamoto.jp/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警からのお知らせ等が掲載中です。

## ～みんなでつくろう安心の街～

10月11日(木)から20日(土)までの10日間、『みんなでつくろう安心の街』をスローガンに「全国地域安全運動」を実施しました。

町内でも運動初日の11日、山都町出身でアイドルグループ「LinQ（リンク）」で活躍中の深瀬智聖（ふかせちせい）さんを一日警察署長としてお招きし、千寿苑において出発式を行うとともに防犯ボランティアの皆さん方と街頭パトロールや防犯キャンペーンを行い、犯罪の予防や交通安全を呼びかけました。

出発式で挨拶する深瀬一日警察署長

○鍵のかけ忘れはありませんか？　○シートベルトしていますか？

みんなで声を掛け合い、『安全・安心な山都町』を築きましょう。皆さんのご協力をお願いします。

## ご存知ですか被害者支援

思いがけず犯罪の被害に遭った方の中には、犯罪そのものによる被害だけではなく、被害後の精神的なショック、捜査・裁判への不安、生活面や経済的な不安など、様々な問題が生じることも少なくありません。

警察では、このような被害者を支援する制度や専用の相談窓口を設けるとともに、被害者の方々の置かれた現状や被害者支援の重要性について、県民の理解を求めるための広報啓発活動を行っています。

**被害者の手引き**
殺人や傷害、性犯罪などの身体犯の被害者、ひき逃げ事件や交通死亡事故などの重大な交通事故事件の被害者を対象として、刑事手続きを記載した「被害者の手引き」をお渡ししています。

**被害者支援要員制度**
被害に遭った直後は、捜査手続等、不安や疑問などがたくさんあると思います。
警察では、被害者の方のために、指定された警察職員が支援活動を行っています。

**被害者連絡制度**
捜査状況、犯人の検挙状況、逮捕被疑者の処分状況について、事件を担当する捜査員が継続的に連絡を行っています。

**公費支出制度**
犯罪により重傷のケガを負ったり、人が亡くなった場合で、警察に診断書や検案書を提出する必要がある場合、その費用を公費で支出しています。
※事案の内容により、支出されない場合もあります。

**犯罪被害給付制度**
故意の犯罪行為により亡くなられた被害者のご遺族、重傷病又は障害を負った被害者が、加害者から十分な損害賠償を受けることができなかった場合に、国が給付金を支給する制度です。
※事案の内容により、給付されない場合もあります。

**関係機関との連携**
被害者の方のニーズに応じた支援活動を行うため、行政機関、検察庁、公益社団法人くまもと被害者支援センターと相互に連携し、きめ細かな支援が行えるように取り組んでいます。

## 平成23年度交通安全標語コンクール　入選作品（山都地区交通安全協会主催）

さけのんで　うんてんするの　ゆるさない（矢部小4年　村上綾音）
くらい道　命をまもる　きらきらたすき（矢部小3年　濱田都佳）

（学校名・学年は当時）



# みんなで燃やせ！おなかの脂肪

みなさん、健康診断はもう受けましたか？健康への第一歩は自分の体の状態を知ることで、そのためには健診が重要です。

健康福祉課では、10月25日、健診を受診して、運動を進められた方を対象に「はつらつ運動教室」を開催しました。教室には34人が参加、通潤橋周辺をウォーキングしました。体を動かす効果を知るために、県スポーツ振興団の運動指導士がウォーキングの指導を行いました。ウォーキングのポイントは「事前の準備運動を行うこと、腕のふりとかかとからの着地に気をつけること」。参加者は、指導されたポイントを守りながら、景色を楽しみ、会話を楽しんで、汗を流しました。

参加者は、「心地よい疲れですがすがしい気分になれました」と感想を語っていました。

## ３Ｂ体操ってなに？

３Ｂ体操は、仲間同士で楽しみながら体験でき、心身をリフレッシュさせられる健康体操です。1971年、福岡の主婦の間で、サークル活動としてスタートしました。その後全国に活動が広がり、平成20年度の実践者は約33万人と言われています。全国各地の公民館や集会所などで、毎週１～２回教室が開催されており、１階のレッスンは約１時間30分です。０歳から100歳までの幅広い年齢層の方々が対象で、さまざまな運動ができます。

## どんな運動をするの？

ボール・ベル・ベルターという道具を使い、音楽に合わせて体を動かしたり、ダンスをしたりします。遊び感覚でさまざまな運動が楽しめます。音楽のレパートリーは約1,000曲にものぼり、世界の民謡から童謡、クラシック音楽、さらには最新ポップスまでさまざまです。

ボール

ベル

ベルター

３Ｂ体操には、対象者・目的別に７つのコースがあります。その方に合った体操を楽しみながらすることができます。また、一人で行う体操以外に、２人でパートナーになって体を動かしたり、大勢で一緒にダンスをしたりさまざまな体操があります。自然と仲間が増えるので、長く続けられます。

子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しめます。

ベルターを使い参加者全員でダンス

# ３Ｂ体操のつどい in 山都町

11月11日、「３Ｂ体操の集い in 山都町」が開催されました。ボールなど３つの道具を使って行う健康体操である３Ｂ体操の教室に参加する県内の350人が、町営中央体育館で、教室での体操の成果を発表し、ゲームなどで交流を深めました。この集いには山都町で行われている「３Ｂ体操教室」の参加者13人も参加しました。

## ３Ｂ体操教室やってます！

山都町でも「３Ｂ体操教室」が開かれています。心と体の健康のために、一緒に体を動かしてみませんか？

水曜日　午後１時３０分～（中央体育館）
月曜日　午後７時～（中央体育館）
木曜日　午後７時３０分～（清和体育館）

月３回の教室で、参加料は2,500円です。教室に関する問い合わせは、石山和子さん（℡７２―０５０６）までお尋ねください。

## ご家庭でもうがい茶を

うがい茶の作り方（家庭で作る場合の一例）

準備するもの

①茶葉（緑茶）使用後の茶葉でも十分使えます。

② 90℃以上の熱湯

作り方

①急須などに茶葉を入れ、熱湯を注ぐ

② 20 分以上抽出する。

（カテキンは温度の高いお湯で抽出されます。90℃であれば 20 分で抽出のピークを迎えます。）

③そのまま冷ましてうがい茶として使うか、水などで薄めて使用する。

これは一例です。必ず冷ましてからうがいに使いましょう。

うがいだけでなく、のどが渇いたときにお茶を飲むことで、のどに潤いを与え風邪予防。

普段からお茶を飲む習慣をつけて、健康な体を維持しましょう。

## ～うがい茶でインフルエンザを撃退～

### 山都町茶振興会から町内の保育園、小中学校へ

お茶を渡す藤原会長（後列中央）

うがい茶でうがい

山都町茶振興会が風邪・インフルエンザ防止に役立ててほしいと、町内の 10 の小中学校と 15 の保育園に特産茶葉を使ったうがい茶を贈呈、その贈呈式が 10 月 24 日に浜町乳児保育園（上寺）で行われました。今年度から町内保育園にも贈呈されることになりました。山都町茶振興会の藤原徳門会長は「この冬を元気に乗り切られるように、うがい茶でインフルエンザや風邪の対策をとって、この町からインフルエンザが減って欲しい」とあいさつ、うがい茶用にティーバックに入れられた茶葉 158kgを園長に手渡しました。

贈呈式のあと、園児は早速「ガラガラガラッ」とお茶でうがいをしていました。

## インフルエンザに負けないために

インフルエンザは流行がはじまると、短期間で感染が拡大します。感染しないために予防法を身につけましょう。

### 正しい予防方法を身につけよう

基本はマスクの着用と外出後のうがい・手洗い。ウイルスに負けない習慣を見につけましょう。

**インフルエンザと風邪の違い**

風邪と言われる症状は、鼻水、くしゃみ、咳、微熱などが中心で比較的ゆっくり進行します。これに対しインフルエンザは次の症状が特徴です。

- 急な高熱、咳、鼻水、嘔吐、下痢、食欲不振、頭痛、のどの痛み、筋肉痛、関節痛、強い倦怠感などの全身症状

**対策１　手洗いをする**

食事の前や帰宅後はもちろん不特定多数の人がさわる物に触れた後など、できる限り頻繁に行いましょう。目安は 20 秒間です。

**対策２　うがいをする**

空気が乾燥すると、のどの粘膜や防御機能が低下するため、ウイルスに侵されやすくなります。のどは清潔に保ち、乾燥を防ぎましょう。

**対策３　マスクを着用する**

感染者が着用することで飛沫感染を防ぐことができます。感染者と接する時や換気が不十分な場所では、予防対策として有効です。

**対策４　予防接種を受ける**

予防接種で、インフルエンザにかからなくするか、症状を軽減することができます。子どもと高齢者の方は公費で補助があります。

**対策５　外出を控える**

人混みや繁華街への不要不急な外出は控えましょう。やむを得ず外出するときは、マスクを着用し、短時間で済ませましょう。

# わたしたちの人権 93

だれもが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利これが『人権』です

## 12月1日(土)～12月10日(月)は山都町人権旬間です
## 2012年度 ～「山都町人権旬間」の取り組み～

1948年（昭和23年）12月10日、国際連合で「世界人権宣言」が採択されました。これを記念して、国際連合は12月10日を「世界人権デー」と定め、全ての加盟国に対して人権思想の啓発のための行事を毎年実施するよう推進しています。

これを受けて、日本では毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、大規模な啓発活動を展開し、国民に人権意識の高揚を呼びかけています。

山都町においては、毎年12月1日から10日までを「人権旬間」と定め、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすため、みなさんに人権について深く考えていただく期間としています。期間中は、「人権を考える町民の集い」をはじめ、各種行事を予定していますので、町民の皆さまの積極的なご参加をお願いします。

### ●人権を考える町民の集い

**●日時** 12月3日（月）午後6時～午後8時30分

**●場所** 矢部保健福祉センター「千寿苑」

**●内容** ①児童・生徒による人権作文発表
②講演会
講師＝土田光子さん（大阪大学非常勤講師・元中学校教諭）
演題＝私を創ったもの ～私を再生させた同和教育との出会い～

土田　光子さん

### ●人権講演会

**●内容**
・講師　桂　福車さん（落語家）
・演題　差別って何やねん！～ひとの心の奥底にあるもの～

**●清和地区**
・日時　12月4日(火) 午前10時～午前11時30分
・場所　清和山村基幹集落センター

**●蘇陽地区**
・日時　12月5日(水) 午前9時30分～午前11時
・場所　蘇陽総合支所営農ホール

桂　福車さん

### ●人権パレード

**●日時** 12月3日(月)午前10時～

**●場所** 山都町営中央体育館前

**●内容** 人権旬間にあたり、各種団体の代表者が集まって出発式を行います。その後、矢部・清和・蘇陽地区に分かれ、パレードやビラ配布などの啓発活動を実施します。また、期間中は人権啓発のぼり旗の設置や街宣活動なども実施します。

### ●防災行政無線による啓発

**●放送期間** 12月1日から12月10日まで

**●放送内容** 各機関の代表者などが、防災無線をとおして人権啓発のための挨拶を行います。また、小・中・高校生の人権作文を、本人の朗読により紹介します。

### ●人権啓発カレンダー

町内の小・中学生を対象に、人権啓発のためのポスターを募集しています。入選作品については人権啓発カレンダーに掲載し、各家庭へ配布します。

### ●特設人権相談所

人権旬間に合わせて、特設人権相談所を開設します。人権問題・家庭内の問題、隣近所とのトラブル、金銭問題、その他いろいろな悩み事や心配事でお困りの方は、相談にお越しください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

**●日時** 12月4日(火)　午前10時～午後3時

**●場所**

| |
|---|
| ・矢部会場：中央公民館<br>相談員：人権擁護委員（中村コノヱ・赤星光洋・片山節子） |
| ・清和会場：清和総合支所<br>相談員：人権擁護委員（緒方郁生・黒木博子） |
| ・蘇陽会場：蘇陽総合支所<br>相談員：人権擁護委員（菅原健二・町義弘） |



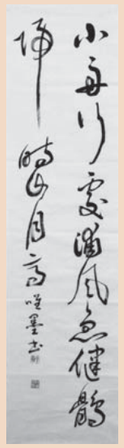
## 季節のうた

▼通潤句会
母の齢二倍も生きて梅を干す　田中かつみ
育くみしやせた土地にもそばの花　西田えい子

▼清和短歌会
野いばらの芽ばえやさしき棘にして　梅田　市子
土手を彩る白き花群　生きてきし値や望み如何なる　平川　竜
迷路の道をたどる他なし　名月を尋ねて一人秋の野に　小崎　孝行
満天の星かぞえて歩む

▼馬見原酔山会
じょうびたき声を辿れば青空へ　岩永　博
追いかけて犬宙を跳ぶ草紅葉　大西久美子
栗拾ひいがを蹴散らす三歳児　岩永　周子

▼やまなみの会
猪のぬた場の跡の新しく　今村　芳子
台風で句会延期となりにけり　天崎　信恵
なかなかに眠れさうもない星月夜　赤澤富美子
起き抜けに庭草抜くぞ五十本と　古閑比奈子
定めしノルマ未だ守れず
試練とも受け止め夫は黙しつつ　山下　弘子
椅子に腰かけ身動きもせず
早朝の蝉は頻りに鳴きだして　田代　エミ
酷暑になるを知らせるごとし


書道

和光教室書道部の片山久男さん（須原）作

## 12月の当番医

| | | |
|---|---|---|
| 12月 2日 | 瀬戸病院 | （電話75-0111） |
| 12月 9日 | そよう病院 | （電話83-1122） |
| 12月16日 | 高田整形外科 | （電話72-1007） |
| 12月23日 | 坂本クリニック | （電話72-0210） |
| 12月30日 | 伴　病　院 | （電話72-0029） |

## 山都町の人口

〔平成24年10月31日現在〕

| | | |
|---|---|---|
| 男 | 8,414人 | （－9） |
| 女 | 9,031人 | （－10） |
| 計 | 17,445人 | （－19） |
| 世帯 | 6,752戸 | （－2） |

※（　）は前月比
※最高齢は106歳〔女性1人〕
※1月1日～10月31日の出生届数
68人（うち10月は7人）
※1月1日～10月31日の死亡届数
259人（うち10月は26人）

## 町民手帳ができました。2012年版

予約をされている方は販売場所（本庁企画振興課またはお近くの総合支所総務住民課）までお越しください。

**1冊500円**です。**代金と引き替え**でお渡しします。

**【予約している方】**

**予約申込み代表者が申込数分の代金を取りまとめのうえ、販売場所までお越しください。**＊役場では申込み代表者のお名前と合計部数しか管理していないため、代表者以外の方が受け取りに来られてもお渡しできない場合があります。

**【予約していない方】**

販売場所で随時販売しますが、数に限りがあるためお早めにお買い求めください。

**【問い合わせ先】**

企画振興課（73 － 0410）

今年はくまモンのイラスト入りです。

### 訂正とお詫び

広報やまと10月号（10月24日発行）において、記事に誤りがありました。関係者のみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正します。

○（14ページ）
大塚叢司さんの紹介記事内
5行目
（誤）「老人クラブ清和支部の会長」
→（正）「老人クラブ米生支部の会長」

紅葉の渓谷を舞台に演奏した緑仙太鼓

かわいさを振りまいた小峰へき地保育所

## 緑仙峡 11月3日（土）

11月3日、今年で31回目を迎えた緑仙峡もみじまつりが、緑仙峡キャンプ場周辺で開催され、地域の方々や観光客が、渓谷の紅葉を楽しみながら、いのしし汁ややまめの塩焼きなどのおいしい食べ物を堪能しました。ステージでは、小峰へき地保育所のみこしやダンス、緑仙太鼓や清和小職員と保護者による清和太鼓が披露され、さらに町内の方々で構成された「荒木バンド」が懐かしい曲の演奏で祭を盛り上げました。

# もみじまつり

## 蘇陽峡 11月10日・11日

11月10日・11日、蘇陽峡のもみじ祭が、長崎鼻展望所駐車場を中心に開催されました。もみじ祭直前の冷え込みが功を奏したのか、鮮やかなオレンジ・赤・黄色の紅葉が、約14キロメートルに渡る蘇陽峡一体に拡がっていました。祭では今回も、約3時間かけて蘇陽峡を散策するウォーキングや、カヌー体験も行われました。また、蘇陽峡展望所駐車場では、名物グルメの屋台が並び、馬見原商店街からのシャトルバスも運行されて、多くの観光客が訪れました。

屋台で観光客をお出迎え

U字型の峡谷がきれいに色づきました。

漆黒の夜空に浮かび上がる神秘的な姿です。

## 静かな夜に浮かび上がった黄金色のイチョウ

### ～清和中部自治振興区がライトアップ～

市の原地区のシンボル、大イチョウがライトアップされ、地域の方々にその神々しい姿を披露しました。実施したのは、清和中部自治振興区。独自事業でライトアップ機器を整備して昨年から始めました。

このイチョウは、旧高松小学校の敷地内にあり、高さ30メートル、幹まわりは4メートル、樹齢100年を超えると言われています。

広報やまと No.93 11月号
■発行／熊本県山都町役場　TEL0967-72-1111
■編集／企画振興課　TEL0967-72-1214
■発行日／平成24年11月21日
■ホームページ／http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp